

推薦調書（アイデア部門）

推薦都道府県

福井県

地方公共団体名	福井県越前市		
アイデア名称	デジタルツイン：みんなでインターネット上に「自分のまち」を再現！		
連携自治体、企業、団体等	仁愛大学、北陸大学、たんなん夢ラジオ、Imadate art field、Big Bear Rich Records、さくらいと、Code for FUKUI、PCN 武生、越前市		
デジタルを活用したアイデアの概要（デジタルを活用したアイデアの全体概要と解決する個別課題の具体的内容）	(種類)	①	(左記が①の場合の分野) 観光
	<p>【デジタルを活用したアイデアの全体概要】</p> <p>○テクノロジーで地域の課題を解決する活動を行っているシビックテック団体 Code for FUKUI を中心に多様な団体が参加して、まち並みのデータを作りデジタル空間上にまち並みを再現（デジタルツイン）する。作ったまち並みは、誰でも使えるデータ（オープンデータ）として公開する。</p> <p>○市民でデジタルツインを作ることやオープンデータとして公開することは全国でも珍しい取り組みとなるため、取り組み自体を注目させる。</p> <p>○デジタルツインをメタバース等に利用していただくことにより、インターネット空間に数多くの越前市が存在することになり、露出度が上がる。</p> <p>【実施に至る経緯・動機】</p> <p>○越前市は「メタバース越前」と標榜し市のブランド化と新しい情報発信の取り組みを行うことを発表した。</p> <p>○メタバースに必要なデジタルツインを市民参加でつくることにより、市民と行政による共創社会を実現する。</p> <p>【解決する課題の具体的内容】</p> <p>○市の取り組みを市民みんなで盛り上げる取り組みにする。</p> <p>○インターネット上で越前市の露出度を上げる。</p> <p style="padding-left: 2em;">市の知名度向上と、地域や活動に感動・共感を得たファンをつくる 仮想空間で疑似体験後、現実へ誘導して、街の賑わいをつくる</p> <p>○全国でも珍しい取り組みを市のブランドとする。</p> <p>○官民共創の具体的事例を作り共創社会を実現する。</p>		
デジタルの活用により目指す成果（数値）	<ul style="list-style-type: none"> ・名所旧跡、公園等 10 か所のデジタルツインを製作する。 ・デジタルツインを使用して、仮想空間メタバース上で現代アートのストリートアート展を開催し、疑似体験させてから現実空間でおこなう現代アート展に誘導することで参加者を増やしていく。仮想空間から現実空間に誘導するような取り組みを 2 つ実現する。 		

<p>本アイデアの特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点</p>	<p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルツインを市民が作る。 ・デジタルツインをオープンデータとして公開する。 <p>工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォトグラメトリーや LiDAR などの最新技術を参加者同士で教えあって習得を行うことで最新技術を広めていく。 ・スマホなど参加者が持っている機器を利用し、フォトグラメトリーや LiDAR などの無償ソフトウェアを活用することで、活動に経費をかけない。 ・成果物に極端な精度を求めないことで市民が参加しやすい取り組みとする。
<p>今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルツインを一緒に作る団体を増やす。 ・デジタルツインを使い、地域性があるサービスを提供するメタバースをすることで、仮想空間で市をプロモーションするとともに、仮想空間から現実空間に誘導することで交流人口を増やしていく。

◎ デジタルツイン製作の流れ

① 携帯やタブレットで写真を撮る



② 写真から3Dデータを作る



③ 3Dデータを繋ぐ



④ 繋いだデータを地図に貼り付ける



この①～④の作業を繰り返し、まち全体のデジタルツインを作る！

